



本号の主な内容

- 2面 平成 20 年度 事業計画
平成 20 年度 日造協 協会表彰
- 3面 【論説】建設業に身を置く者としての責務
【緑滴】日本で感じる英国
- 4面 【総・支部だより】
九州総支部 和歌山・兵庫県支部



総会のもよう（6月24日、東京・ルポール麹町）

平成 20 年度 通常総会を開催 佐藤会長を選任、6議案を審議・承認

平成 20 年度通常総会を 6 月 24 日、東京・千代田区平河町のルポール麹町で開催し、平成 19 年度事業・決算報告、平成 20 年度事業計画・収支予算、役員選任など、6 議案を審議・承認した。

総会では冒頭、佐藤四郎会長があいさつ（別掲）。来賓を代表し、小川陽一国土交通省大臣官房審議官が、「日頃から、公園緑地行政にご協力いただき、この場を借りて御礼申し上げます」とともに、設立以来長きにわたって、造園技術の向上、建設業の健全な発展、さらに、都市緑化の推進などに尽力されておられる方々におかれましては、長年優れた功績を残されたことに対し改めて敬意を表するとともにお祝いを申し上げたい」と祝辞を述べた。

その後、総会議事に先立ち、造園建設功労賞、業績表彰、勤続功労表彰の授与式を開催し、52 氏に賞状が贈られた（受賞者 2 面）。

総会議事では、特に平成 20 年度事業計画として、「環境サミット」に代表される「環境の世紀」において、日造協の「ビジョン 21」で示した目標の実現を図ることをとし、大きく 7 項目にわたる事業の推進を掲げた。

樹林

平成 20 年度通常総会の開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

本日は、国土交通省大臣官房審議官小川陽一様をはじめ、ご来賓の国土交通省の皆様には公務ご多忙の折にもかかわらず、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

会員の皆様方におかれましては、多くのご出席をいただきまして、ありがとうございます。

また、本日は、造園建設業界の発展のために、著しい業績を上げられた方等表彰を受けられる 52 名の方々にも、ご出席をいただいております。

受賞される皆様おめでとうございます。これまでのご努力に敬意を表しますと共に、これからも業界の発展のために、ご活躍いただけることを、願っています。

さて（社）日本造園建設業協会は、わが国を代表する造園建設業の団体として、約 40 年の歴史を持っています。この間、造園建設業界発展のため、努力してまいりました。これも偏に、会員の皆様のご協力あつてのものと、感謝申し上げます。

今日、造園建設業をはじめとして、建設業界を巡る環境は、財政再建下での公共投資の抑制によって、非常に厳しい状況にあります。

そのため、各建設業界は、それぞれが、この苦境を乗り切ることをはじめとして、将来の事業展開に向けて、いかなる布石を打つか、結束を高めつつ、幅広い協会活動を展開しています。造園建設業界も建設業としての社会的責任と経営の向上にむけて、独自の責任において、活動を展開して行かなければなりません。

昨年は、入札契約制度改革において柱となる、「総合評価落札方式」の運用について、造園建設業としての思いを、主要事業官庁である国土交通省ならびに環境省に伝達いたしました。この件につきましては、総支部におきま

通常総会開催にあたって

社団法人日本造園建設業協会

佐藤 四郎



しても、地方整備局等へ、要望活動をしていただき、成果を得たところがあります。

建設業界全体としても、健全な事業展開を図るためには、企業としての適正な利益確保が不可欠として、総合評価方式における技術力評価の推進、過当競争から生じる低入札問題への対応等を発信してきましたが、やっと、自

世紀、「みどりの世紀」といわれる 21 世紀こそ、公園緑地事業をはじめとして、道路、港湾、学校さらには民間プロジェクトの場において、造園技術を生かせる領域の拡大を進めるとともに、それを造園建設業界として受け止める技術力、提案力を備えるための努力をいたしたいと思っています。

今日の厳しさを乗り切るためには、

名称変更

- （7月1日付）公園緑地課→公園緑地・景観課
- 緑地環境推進室→公園緑地・景観課緑地環境室
- 都市計画課景観室→公園緑地・景観課景観・歴史文化環境整備室

人事異動

- 国土交通省関係（6月1日付）
 - （勅）日本建設情報総合センター研究第1部主任研究員→松本勝正（都市再生機構東日本支社東日本公園事務所副所長）
 - （6月30日付）任期満了→高梨雅明（都市再生機構理事）
 - （7月1日付）退職→鈴木弘孝（建築研究所住宅・都市研究グループ上席研究員）
 - 建築研究所住宅・都市研究グループ上席研究員→加藤真司（大阪市ゆとりとみどりの振興局副理事）
 - 都市再生機構業務第三部担当部長→大橋謙一（都市再生機構業務企画部担当部長）
 - 都市再生機構業務第一部土地有効利用推進室土地管理・防災公園チーム兼業務第三部公園計画チーム→佐々木貴弘（東北地方整備局国営みちのく杜の湖畔公園事務所調査・品質確保課長）
 - 都市再生機構業務第三部公園計画チーム→五十嵐康之（甲斐市副市長）
 - 都市再生機構業務企画担当部長→後藤和夫（沖縄記念公園事務所長）
 - 沖縄記念公園事務所長→足達正明（船橋市建設局長）
 - 船橋市建設局長→鈴木修二（近畿地方整備局明石海峡公園事務所長）
 - 近畿地方整備局明石海峡公園事務所長→小島孝文（国土計画局参事官付課長補佐）
 - 国土計画局参事官付

- 課長補佐→柳沢秋介（都市再生機構土地有効推進室土地管理・防災公園チーム）
- 下水道企画課課長補佐→三石忠人（九州地方整備局建設部都市調整官）
- 九州地方整備局建設部都市調整官→木村孝（緑地環境室課長補佐）
- 緑地環境室課長補佐→竹内浩一郎（下水道企画課下水道管理指導室課長補佐）
- 景観・歴史文化環境整備室課長補佐→名倉祐久（総務課付）
- 北陸地方整備局建設部長→平田五男（北陸地方整備局北陸技術事務所所長）
- 関東地方整備局建設部都市調整官→篠原昭彦（街路課課長補佐）
- 中部地方整備局建設部長→大竹亮（都市再生機構業務第二部次長）
- （7月2日付）滋賀県土木交通部技監→古澤達也（都市再生機構業務第三部公園計画チームリーダー）
- （7月4日付）退職→小川陽一（大臣官房審議官）
- 大臣官房審議官→松田紀子（総合政策局総務課長）
- 都市再生機構経営企画部長→吉田光市（総合政策局建設課長）
- 総合政策局建設課長→谷脇暁（中部地方整備局総務部長）
- 関東地方整備局建設部長→永森栄次郎（公園緑地・景観課景観・歴史文化環境整備室長）
- 公園緑地・景観課景観・歴史文化環境整備室長→笹口祐二（大田区官報課広報企画官）
- 四国地方整備局建設部長→近江典男（公園緑地・景観課公園企画官）
- 公園緑地・景観課公園企画官→丸尾浩（阪神高速道路(株)計画部企画グループ長）
- 公園緑地・景観課課長補佐→八木貴弘（海事局海技課長補佐）
- 東北地方整備局建設部長→東澤（住宅局市街地建築課課長補佐）



受賞者に佐藤会長から表彰状が手渡された

造園建設功労賞

総支部	支部	氏名	年齢	所属
北海道	北海道	細田 美樹	58	王子木材緑化(株)
東北	宮城	伊藤 米男	71	東洋緑化(株)
関東・甲信	東京	卯之原 昇	59	(株)昭和造園
〃	神奈川	岡部 逸	70	(株)東開造園土木
〃	山梨	塩原喜久男	59	(株)アセラグリーン
北陸	富山	久郷 慎治	55	(株)久郷一樹園
中部	三重	田中 清平	55	(株)名阪造園
近畿	福井	友田 慶一	66	(株)大地
〃	京都	小林 正典	57	(株)小林造園
中国	島根	持田 圓治	73	(株)もちだ園芸
四国	香川	末澤 保	62	末澤緑地(株)
九州	福岡	田丸 雄二	63	田丸造園建設(株)
〃	長崎	朝長 靖司	65	(株)朝長緑化建設
本部	本部	平井 善樹	64	内山緑地建設(株)

業績表彰

総支部	支部	氏名	年齢	所属
北海道	北海道	齋藤 尚仁	52	(株)宝成園
〃	〃	廣澤 清隆	57	(株)道南レミック
東北	福島	國井 英明	53	常磐開発(株)
関東・甲信	茨城	宮本 和雄	56	茨城県県南造園土木協業組合
〃	栃木	渡辺 定男	64	(株)永沢緑花苑
〃	群馬	新田 元大	63	新田造園土木(株)
〃	埼玉	北島 務	59	(株)北島ソリューション
〃	〃	柳澤 誠一	51	(株)松柳園
〃	千葉	島山 勇雄	60	(株)アート造園ハタケヤマ
〃	〃	若井 健治	57	橋本屋造園(株)
〃	東京	大場 淳一	49	(株)大場造園
〃	〃	梶井 直和	56	物林(株)
〃	〃	林 輝幸	56	西武造園(株)
〃	〃	松尾 長才	51	(株)柳島寿々喜園
〃	神奈川	笠原 章	59	(株)港南植木ガーデン
〃	〃	酒井 和夫	55	(株)田澤園
〃	山梨	石原 政人	48	(株)石原グリーン建設
〃	長野	笠原 通	46	林業笠原造園(株)
北陸	石川	松平 博之	51	(株)北陸グリーンサービス
中部	静岡	衛藤 徹雄	56	(株)ハケ代造園
〃	愛知	竹地 正洋	65	(株)造園サービス
近畿	京都	茨木 和幸	50	(株)茨木春草園
〃	奈良	里脇 昇	75	(株)里脇造園土木
〃	和歌山	樋口 祥一	75	(有)樋口造園土木
中国	広島	土肥 利則	54	(株)有斐園
四国	徳島	川人 克男	57	(有)川人造園土木
九州	熊本	芹川 隆徳	50	芹川造園(株)
〃	大分	川津 潔	52	(株)大山
〃	鹿児島	新谷 哲生	61	新谷緑化(株)

協会表彰52氏の業績など称える

日造協通常総会の席上、平成20年度の造園建設功労者14名、業績表彰29名、勤続精励表彰9名の表彰を行った。受賞者は表の通り。

勤続精励表彰

総支部	支部	氏名	年齢	所属
東北	秋田	根本 仁志	53	秋田植林土木(株)
関東・甲信	神奈川	坂本 義勝	56	相原造園土木(株)
北陸	新潟	磯部 久世	51	グリーン産業(株)
近畿	滋賀	武田孝四郎	54	西村造園土木(株)
〃	大阪	根本 長平	59	近鉄造園土木(株)
〃	兵庫	関山 正己	58	神港農園芸(株)
中国	鳥取	勝部 周一	50	(株)チュウブ
四国	高知	溝渕 勝郭	59	東洋園芸食品(株)
九州	宮崎	谷口 昭一	59	(株)田口グリーンセンター

(社)日本造園建設業協会

会長、副会長、専務理事、常務理事、理事、監事

会 長	佐藤 四郎	(株)日比谷アメニス取締役会長	再
副会長	藤巻 司郎	藤造園建設(株)取締役社長	再
副会長	樋口 敬記	内山緑地建設(株)代表取締役会長	新
副会長兼専務理事	五十嵐 誠	(社)日本造園建設業協会副会長	再
常務理事	小林 脩	(社)日本造園建設業協会常務理事	再
理事	赤崎 幹男	アイシン 開発(株)顧問	再
理事	伊藤 英昌	(財)公園緑地管理財団副理事長	再
理事	宇坪 啓造	北陸緑化(株)代表取締役会長	新
理事	大泉 紀男	(株)片平エンジニアリング特別技術顧問	再
理事	大塚 守康	(社)ランドスケープコンサルタンツ協会会長	新
理事	大坪 貞保	(社)高知県森と緑の会運営協議会委員	再
理事	木上 正貢	木上梅香園(株)代表取締役社長	新
理事	鬼頭 愼一	(株)双葉造園代表取締役	再
理事	久郷 愼治	(株)久郷一樹園代表取締役社長	再
理事	久保 和男	(株)葉隠緑化建設代表取締役社長	再
理事	熊谷 洋一	東京農業大学地域環境科学部教授	再
理事	小泉 晋	アトリエヒロ代表	再
理事	近藤 公夫	奈良女子大学名誉教授	再
理事	坂上 信明	(株)昭和造園土木代表取締役	再
理事	櫻井 正昭	(財)自然公園財団専務理事	再
理事	佐々木吉和	むつみ造園土木(株)代表取締役	再
理事	笹本 知	(株)北海道造園コンサルタント代表取締役社長	新
理事	椎谷 尤一	(財)都市緑化技術開発機構専務理事	再
理事	下地 浩之	(有)西原農園代表取締役	新
理事	下平尾 郁	造園家	新
理事	杉尾 邦江	(株)ブレック研究所代表取締役副社長	再
理事	杉本 正美	九州芸術工科大学名誉教授	再
理事	砂川 孝志	(財)リバーフロント整備センター専務理事	再
理事	須磨佳津江	キャスター	新
理事	高橋 一輔	アゴラ造園(株)代表取締役社長	再
理事	富田 祐次	(財)海洋博覧会記念公園管理財団理事長	再
理事	西岸 芳雄	(財)日本花普及センター専務理事	再
理事	初谷 雄一	(財)建設業振興基金専務理事	新
理事	早坂 有弘	(株)国策代表取締役社長	再
理事	林 輝幸	西武造園(株)取締役社長	新
理事	福島 偉人	(株)有斐園代表取締役	再
理事	丸山 宏	名城大学農学部教授	再
理事	養茂寿太郎	公立大学法人熊本県立大学理事長	再
理事	山本 一隆	(株)中国新聞社代表取締役副社長	新
理事	涌井 史郎	桐蔭横浜大学特任教授	再
理事	和田 新也	箱根植木(株)代表取締役社長	再
理事	渡部 佐界	庄内園芸緑化(株)代表取締役	新
理事	渡邊 宣昭	横浜植木(株)代表取締役	再
監事	梅原 二郎	尊農社緑地(株)代表取締役会長	再
監事	江口 浩市	(財)都市緑化基金常務理事	新
監事	北田 功	(株)植清園代表取締役	新

第1 造園技術・造園資材・造園工事施工の合理化及び造園業の経営の改善に関する調査研究の刊行

1. 会員の実態調査

造園工事業の近代化を図る基礎資料を得るためならびに造園建設業界の実情を把握するため、昭和58年から実施している会員実態調査を引き続き行う。

2. 造園のもののづくりシステムの研究

設計施工一体化発注等入札制度改革で話題となっている課題を含め、造園にふさわしいものづくりと評価のあり方について(社)ランドスケープコンサルタンツ協会と検討を進める。また、(社)日本造園学会全国大会でミニフォーラム「より良質な公共造園空間創造に向けた設計・施工、その連携のあり方」に参加する。

3. 植栽基盤整備技術の蓄積

「ひろげよう 育てよう みどりの都市」全国大会春季における都市緑化推進運動・全国都市緑化フェア、都市緑化月間、まちづくり月間、「日本の景観を良く

第2 公園緑地、道路、河川、住宅、工場、学校等の緑化行政に対する協力

5. 環境にやさしい技術への取り組みの推進

資源の有効利用の啓発を行い、移植やみどりのリサイクル講習会を開催する。

6. 企業基盤の強化と活性化

造園工事に携わる者の処遇改善及び、雇用する企業の経営基盤強化につながる、造園工事の仕様書、歩掛、労務費、市場単価についての調査研究を行う。

第3 造園技術の国際交流及び協力の促進

1. 国際園芸博覧会の認証機関である国際園芸家協会(AIPH)の日本代表会員として、総会やスプリン

する国民運動推進会議」全国大会、道路ふれあい月間、河川愛護月間、住宅月間、工場緑化推進全国大会等に参加する。

第4 造園業に関する情報、資料の収集、提供

1. 全国の各都道府県造園建設業協会との施策の推進、事業活動の遂行、事務

会議並びに講習会を実施するとともに、人材育成と資格制度の普及、労働安全の推進、若年者の入職促進のための事業を実施する。

第5 関係行政庁その他関係機関への政策提言、建議、要望等

1. 国土交通省、環境省等と意見交換を行う。

発のためのポスターを作成し配布する。また、造園工事、造園維持管理業務等における事故の実態調査を解析する。

第6 造園技術者及び技能者の養成、資格の認定並びに研究会・講習会等の開催

1. 資格認定

①登録造園基幹技能者(社)日本造園組合連合会と共催
②造園技術者(社)日本造園建設業協会と共催
③造園技術者(社)日本造園建設業協会と共催
④造園技術者(社)日本造園建設業協会と共催
⑤造園技術者(社)日本造園建設業協会と共催
⑥造園技術者(社)日本造園建設業協会と共催
⑦造園技術者(社)日本造園建設業協会と共催
⑧造園技術者(社)日本造園建設業協会と共催
⑨造園技術者(社)日本造園建設業協会と共催
⑩造園技術者(社)日本造園建設業協会と共催

平成20年度事業計画

グ・ミーティング等へ出席する。

2. 国際公園・レクリエーション管理行政連合(IFPRA)の会員として国際交流に努める。

3. 国際造園家連盟(IFLA)の会員、幹事として国際交流に努める。

4. 欧州造園建設業協会(EICA)との情報交換を行う

局の効率的運営、組織・会費の調整等、事業執行体制を強化するための検討を行う。

2. 公共工事の入札契約制度改革への対応を図るための情報を提供する。

3. 雇用改善推進事業の実施

雇用改善事業の推進を図るために、雇用管理責任者

危険性又は有害性等の調査の調整等、事業執行体制を強化するための検討を行う。

また、高木剪定作業等の安全確保対策を推進するとともに、安全の手引きの改訂に着手し、安全講習会を実施する。

7. 各種調査等へ対応し、造園業に関する情報提供を行う。

①登録造園基幹技能者(社)日本造園組合連合会と共催
②造園技術者(社)日本造園建設業協会と共催
③造園技術者(社)日本造園建設業協会と共催
④造園技術者(社)日本造園建設業協会と共催
⑤造園技術者(社)日本造園建設業協会と共催
⑥造園技術者(社)日本造園建設業協会と共催
⑦造園技術者(社)日本造園建設業協会と共催
⑧造園技術者(社)日本造園建設業協会と共催
⑨造園技術者(社)日本造園建設業協会と共催
⑩造園技術者(社)日本造園建設業協会と共催

すい認定プログラムを実施する。

③社内での技術研修がC P D単位に加算される事例を紹介する。

5. 第46回技能五輪全国(千葉)大会への参加

運営委員・競技委員を派遣するとともに、造園職種に出場し優秀な成績を収めた者を表彰(日造協会長及び造園連理理事長連名する。また、第40回技能五輪国際大会(カナダ・カルガリー)への参加を目指し、啓発活動を実施する。

6. 総支部・支部開催の講習会等へ講師を派遣する。

第7 造園・環境緑化に関する普及啓発及び広報活動並びに機関紙、図書の刊行

1. 社会貢献活動への取り組み
①国・地方公共団体等と災

害時における防災活動について防災協定の締結に努める。

②京都議定書の目標を達成するための国民的プロジェクト「チーム・マイナス6%」の趣旨に賛同し地球温暖化防止対策の啓発に努める。

2. 造園建設功労賞等の表彰
緑化事業の推進並びに業界の発展に著しい業績等があつた者に対し、表彰規程に基づき、会長が表彰する。

3. 第35回全国造園デザインコンクールの実施
造園を目指す若者に夢と意欲を与えるために、全国高等学校造園教育研究協議会、(社)ランドスケープコンサルタンツ協会と共催で、全国造園デザインコンクールを実施する。

また、入選作品については(社)造園学会全国大会等で展示を行い、若者の技術力

のアピールとコンクールの広報に務める。

4. 全国造園フェスティバルの開催

昨年引き続き、会員参加による全国造園フェスティバルを全国で開催し、行政、市民に造園のプロとしての技術と感性を示すことによつて造園建設業を知り、理解していただく活動を進める。

5. 表彰及び顕彰への推薦
叙勲・褒章、国土交通大臣表彰、都市緑化及び都市公園整備・保全美化運動における都市緑化功労者表彰、優秀施工者国土交通大臣顕彰等候補者の推薦を行う。

6. 造園・環境緑化産業振興会の活動
振興会の構成団体(社)日本造園建設業協会、(社)日本植木協会、(社)日本造園組合連合会、(社)ランドスケープコンサルタンツ協会、(社)日

本造園建設業協会、(社)日本植木協会、(社)日本造園組合連合会、(社)ランドスケープコンサルタンツ協会、(社)日

本造園建設業協会、(社)日本植木協会、(社)日本造園組合連合会、(社)ランドスケープコンサルタンツ協会、(社)日

本公園施設業協会)が環境緑化思想の普及、造園・環境緑化技術の振興の立場から直面する課題に、連携してシンポジウム等の開催による広報普及活動を行う。

7. 機関紙の発行

広報日造協を毎月発行し、会員に最新の情報等を提供するとともに関係官公庁等に造園建設業の活動等を知っていただくために広く配付する。

8. 会員名簿の発行
会員並びに関係官公庁等に配付する。

9. 図書の刊行
①街路樹剪定ハンドブック
②植栽基盤整備ハンドブック
③植栽基盤整備調査のてびき
④植栽基盤診断士ファイル
⑤造園安全衛生管理の手引き
⑥美しい街路樹をつくるー樹形のつくり直しー

①街路樹剪定ハンドブック
②植栽基盤整備ハンドブック
③植栽基盤整備調査のてびき
④植栽基盤診断士ファイル
⑤造園安全衛生管理の手引き
⑥美しい街路樹をつくるー樹形のつくり直しー

①街路樹剪定ハンドブック
②植栽基盤整備ハンドブック
③植栽基盤整備調査のてびき
④植栽基盤診断士ファイル
⑤造園安全衛生管理の手引き
⑥美しい街路樹をつくるー樹形のつくり直しー

【論説】建設業に身を置く者としての責務

最近、会員の退会が増えている。総支部、支部において指導的役割を担っている総支部長、支部長の皆さんも、活動の活性化を図る上で、会員の退会にどう対処したら良いのか、頭を悩ませているのが現状であると思います。

「会員になつてはいるメリットがない」が、退会する際に、最も多く言われる理由である。建設業が置かれてはいる厳しい現実から、「仕事の受注が多くなる」ことが、最大のメリットで

あろうことは、想像に難くない。しかし、この「仕事の受注が多くなる」ということが、正確に理解されているかが、問題なのである。

国、地方公共団体等の公共セクターが、財政再建という課題に取り組み、そのため、公共事業費を毎年3%(国レベル)ずつ削減している状況の中で、現実的に、仕事を増やすことは非常に難しい。しかしながら、ここで良く考えてみると、このような財政非常時においては、もつとバッサ

リ削られたとしても、おかしくないのです。公園緑化関連事業費に関しては、造園建設業界が、一致結束した協会活動として、造園業界の声を伝えていることや、建設業法上独立した工事業となつて、大幅な削減を防ぎ、現状程度の削減で歯止めをかけていることに気づかなければなりません。協会活動というものは、事業費拡大の時

に事業費を伸ばすことだけではなく、削減の時ににおいても、削減を低く抑えるこ

とに有効なのです。皆で協会活動を行ったことが、マインナスの中ではあるが、仕事を増やしていると言えるのです。

日本で感じる英国

出雲大社、玉造温泉、宍道湖は全国的に有名で、世界遺産登録により石見銀山も全国的に知られるようになりましたが、まだまだ、どこにあるかはご存知の方が少ないようです。そんな島根県の松江市西浜佐陀町宍道湖北岸に松江ウォーター・ヴィレッジが平成13年4月にオープンし、平成19年4月には、松江イングリッシュガーデンとしてリニューアルオープンして今年で7年目になります。

イギリスから招いた専属ガーデナーのキース・ゴット氏を中心に、シーズンに向けた準備で大忙しであえて、「フラワーパークの延長ではない庭園」(つまり、英国そのま

まの庭園)をコンセプトに庭作りを導入され、弊社とイベント会社との共同企業体で施設及び庭園の管理を

庭園に一步足を踏み入れればそこは英国…。白葉のギンドロと黄葉のニセアカシア・フリーシアの美しさで、スタッフたちと協力し、

き誇るバラたちや気持ちをつくきさせる色とりどりのワイルドフラワ種にチャレンジして、自主事業での

1、雪花粧をした木々、湖岸で羽を休める水鳥たち。春から冬にかけていろいろな表情を魅せてくれます。し、それをさらに向上させられるこ

春先から秋にかけての木々や花々の自然な競演を生かすため、春からは極力、明らかに手を入れたとわかる作業を避け、秋から冬は、

是非、松江イングリッシュガーデンに足を運んでいただき、日本で、いえ松江で英国を感じていただけたらと思います。



緑滴

森 桂子(株庭の川島)



ホワイトガーデンのバラのドーム

飲み込まれ、造園建設業としての特色を出せず、造園建設業界の受注の通減につながることは、目に見えているのです。

声を出すということとは、

その声を肝心の目標に届けることです。声を出す主体

が強くなければ、なかなか、その声は、目標に届きません。その強さは、数と

まとまりによつて、もたらされるものと思います。企業個々より、業界としてま

とまつての協会活動です。ケースによつては、造園建設業界でも小さな力ですが、

あります。そのため、造園建設業協会は、ほかの専

門工事業、設備工事業等の団体とともに、建設産業専門団体連合会(建専連)を構成し、幅広い中小建設業の立場から声を出す活動も行っています。

建設産業に身を置く私たちは、企業それぞれが、経営理念を確立し、強い経営

意欲の下、高い造園技術力を保持し育みつづ、造園業としての領域を拡大して行く一方で、身を置く建設産

業の社会的、経済的地位の向上と、そこで働く者が、将来を托せる産業となるよう、合力して行かねばなり

ません。

1971年(昭和46年)

の建設業法の改正による造園工事業の独り立ちには、私たち、自分の世界のことに対する責任は、自分たちで取り組み、解決していくという環境をもたずと

もに、オール建設業界の向上のためにも、造園建設業界として、一定の役割を果たさなければならないとい

う責任を生じさせました。自分の会社の発展だけでなく、身を置く造園建設業界の発展に、さらには、造園建設業界が身を置く、建

設業界の発展にまで努力することが、建設業法に位置づけられた建設業者としての責務であるうと思いま

す。この責務には、大手も中小も、中央も地方もありません。建設業に夢を託す者として、それぞれの建設業が、総力を挙げて取り組まねばならないのです。

地球温暖化、ヒートアイランド、防災、生物多様性、癒し・健康、少子高齢化、ノーマライゼーション、景観・歴史等々「環境の世紀」にふさわしく、私たちの活躍すべき領域が広がっている今こそ、私たちは、造園建設業に携わるより多くの仲間たちの理解を求め、造園建設業界としての力を高める努力が、期待されているのです。

< 仕事で使う車は、リースが断然有利です ! >

※一例(リース期間 5 年:月額概算リース料)

- ・クリッパートラック
- ① 12,500円
- ② 18,000円
- ・クリッパーバン
- ① 14,500円
- ② 19,500円

- ・ADバン
- ① 19,000円
- ② 29,000円
- ・キャンター2トンダンブ
- ① 49,000円
- ② 59,000円

①はファイナンスリース②はメンテナンスリース



当社は、造園業に携わる企業様とともに歩んでいます

(2007 年度は新たに 100 台以上のご利用を頂いています)

- ・リース料は概算です (新車登録) 社名入れ・ロゴマークなど自由です
- ・全てのメーカーの車両を取り扱っています
- ・現在の得意先

首都圏・九州・四国・近畿・北陸・東北地方の植木生産と造園業の企業様

☆只今 キャンペーン実施中

「取扱い」 (社)日本造園建設業協会・(社)日本植木協会・(社)日本造園組合連合会

(社)埼玉県造園業協会・(社)東京都造園緑化業協会・(社)神奈川県造園業協会ほか

三住オートリース

TEL 042-629-1375

住友三井オートサービス

FAX 042-629-1376

管理業務の特記仕様書に

街路樹剪定士の配置明記

和歌山県支部

和歌山県は、世界遺産の「紀伊山地の霊場と参詣道」(熊野古道)を有する歴史的にも有名な紀伊半島にある県です。

パブル期には、半島振興法などにより世界リゾート博が開催され好況でしたが、それ以降は公共事業の激減、入札制度の改革等により造園業界は、不況の中にどっぷり浸かっています。

こうした中で、当支部は、

①街路樹剪定士の普及啓発活動及び街路樹剪定士研修会の実施
②指定管理者制度の勉強会の実施
に力を入れた結果、本年4月、県発注の街路樹管理業務の特記仕様書において街路樹剪定士の資格を有する者を配置する旨の記載がなされました。これにより

街路樹のよりよい管理につながるものと思います。

一方、指定管理者制度については、公園や公共施設の造園維持管理部門に会員が参画し、仕事の確保や従業員の雇用につながっています。

こうした中、日造協メンバーの社会貢献と課題について検討していたところ、公園事務所より、リタイアされた方や園芸に興味のある方々を対象にした植木剪定講習や園芸講習、花壇苗の作り方の講習会等に会員の知識・技術を十分に活用していける機会を与えられ、これから積極的に取り組んでいく予定です。

我々日造協メンバーは、

将来のビジョンを見据え、卓越した技術集団であるという認識を持ち、何事にも

第2回兵庫みどりの集い

造園3団体共催で盛会

兵庫県支部

「平成20年度兵庫みどりの集い」をこのほど神戸市内の兵庫県民会館において盛大に開催しました。

これは(社)日本造園建設業協会兵庫県支部(富永守支部長)、(社)兵庫県造園建設業協会(橋本渉会長)、神戸市造園協力会(東真会長)の県下造園3団体共催で、

修で地盤調査・診断の重要性と手順を学び、午後からは、現場での実務を学びます。

筑後平野の中心、耳納連山のふもとに位置する山の辺一体は、春の桜、初夏の新緑、秋の紅葉と、自然の風景に恵まれ、また、西日本有数の苗木・植木の産地、特産の巨峰ブドウや富有柿は全国的に知られ、近年は山笠(やまづと)の道の名称でも親しまれるランド・エシックに満ち溢れた山里です。

3班に分かれての実技研修では、土性・土色の判定では、土を

真剣に理路整然と立ち向かい、将来の造園界を背負っていくように努力していく

支部長・井内優

庭芝生化、街の景観向上、企業のエコロジ、指定管理者制度についてなどさまざまなキーワードを例にあげ、多角的な視点から業界の進む方向について論じられ、参加者は熱心に聞き入り、メモを取っていました。

このあと第二部では交流会に場を移し、活発に意見を交わすなどして有意義な時間を過ごしました。

事務局長・藤沢昭則



日造協賛助会員の紹介 03

三住オートリース 株式会社

当社は創業以来、自動車リースをつうじて全国の造園建設と植木生産の企業の皆様とともに歩んできました。

「仕事で使う車は、リースが断然有利」との認識のもと、2トン・3トンダンパー・クリーン車などから軽トラック・軽バン商用車など、全ての車種と全てのメーカー車を新車にて提供させていた

事務局の動き

【6月】

3(火)・総支部長、支部長合同会議
平成20年度第1回理事會

9(月)・「広報日造協」編集會議

11(木)・建設雇用改善助成金説明會

12(木)・IFPRA・ジャパ

13(金)・運営會議

16(月)・事業委員会国際交流推進専門部會

20(金)・技術委員会技術情報部會

24(火)・平成20年度通常総会・臨時理事會

25(水)・街路樹診断国際シンポジウム

【7月】

3(木)・運営會議
7(月)・「広報日造協」編集會議

10(木)・技術情報共有発表會

11(木)・建設雇用改善助成金説明會

12(木)・IFPRA・ジャパ

13(金)・運営會議

16(月)・事業委員会国際交流推進専門部會

20(金)・技術委員会技術情報部會

24(火)・平成20年度通常総会・臨時理事會

25(水)・街路樹診断国際シンポジウム

総・支部 だより

各総支部・支部からの記事を紹介します



植栽基盤診断士補・実技研修会のもよう

梅雨の合間の6月17日から3日間、福岡県久留米市において、九州総支部主催の植栽基盤診断士補・地盤

熱気むんむん 土との格闘 植栽基盤診断士補・実技研修会 九州総支部

調査実技研修会が開催されました。

久留米市田主丸町の内山

先ず、室内でのDVD研

修で地盤調査・診断の重要

性・土性・土色の判定では、土を

経営相談を無料で実施 今年度から日造協が窓口

(財)建設業振興基金は、小中建設業者を対象に専門家による情報提供・経営相談「ワンストップサービスセンター事業」を行っており

また、今年度から日造協は、この事業の「相談窓口・申し込み窓口」を開

設しました。

同事業は、経験豊富な中

小企業診断士、税理士、公

認会計士、社会保険労務士

問合わせは、日造協 03・5684・0011、

03・5684・0012、

ホームページ (http://www.jalc.or.jp/) まで。